

会 議 録

会 議 名	平成29年度第1回野田市社会教育委員会議
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員長及び副委員長の選出について 2 協議事項「少子高齢社会の社会教育について」のこれまでの経緯及びこれからの協議について（公開） <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東葛飾地区社会教育連絡協議会等の日程について
日 時	平成29年7月21日（金） 午後2時から午後3時55分まで
場 所	野田市中央公民館 講堂
出席者氏名	<p>委員 小松崎 明、木名瀬 訓光、戸張 泰、文道 尚子、 茂呂 嘉男、山下 麻里、高井 千鶴、河内 賀子、 佐藤 秀夫、鈴木 昭夫</p> <p>事務局 杉山 一男（生涯学習部長） 大倉 純（社会教育課長補佐兼生涯学習振興係長） 志賀 純子（社会教育課生涯学習振興係主任主事）</p>
欠席委員氏名	横川 しげ子、松尾 師孝、沖田 多恵子
傍 聴 者	1人
議 事	<p>平成29年度第1回野田市社会教育委員会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 生涯学習部長挨拶 3 社会教育委員紹介 <p>事務局から、会議の公開、欠席委員の報告、会議成立の報告、傍聴者及び社会教育委員の役割について説明を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 議事 <p>議題（1） 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>委員から指名推薦により委員長に鈴木委員、副委員長に文道委員を選出する。</p> <p>報告事項 東葛飾地区社会教育連絡協議会等の日程について</p> <p>事務局から、東葛飾地区社会教育連絡協議会等の日程について説明を受ける。</p>

議題（２） 協議事項「少子高齢社会の社会教育について」
のこれまでの経緯及びこれからの協議について

議長 先程、簡単に自己紹介をされましたが、皆さんが社会教育委員としてそれぞれのフィールドで取り組まれていると思いますが、自分の社会教育についての最新の現状と課題についてお話しいただきたいと思います。

A委員 現在、学校では、地域の方々や団体から多くの協力を得て教育活動をしています。以前は、学校は学校、社会教育は社会教育という形でありましたが、それが地域の方々の力を頂きながらの教育活動となっています。小学校では生活科の学習の時に地域のお年寄りの方に来ていただき昔遊びの伝承であるとか、総合的な学習では地域の人でないと分からないようなお話をさせていただいています。地域との関わりの中で子ども達が育っているということで、非常に感謝しています。

課題としては、もっとこのような活動の情報を発信していかなければならないことだと考えております。野田市は地域の力が強い所ですので、もっと情報を発信していくことで、もっともっと協力をしていただける方がいらっしゃるものと考えております。

B委員 地域の方とのつながりが小学校では密であります、中学校では学校行事などもいろいろありまして、なかなか地域と交流を深めることが難しいように感じています。学校で図書ボランティアをしておりますが、テレビの影響もあり本の読み聞かせができていなかったり、図書室に足を運ぶことのできない子供がいたりします。そのような中で、何とか本離れを食い止め、そして楽しく学校へ来ることにつながれば良いと思って活動をしています。

C委員 文化団体協議会が来年70周年ということで、記念事業の準備を進めているのと、野田市文化祭が今年で第70回目ということで、私も関係者として努力しているところです。

昨年千葉で開催されました全国社会教育振興大会で、私は「地域の防災」という分科会に参加し、多くの方と社会教育委員としての役割について意見を交換してきました。私は地域では自治会長をしており、日頃から防災について関心を持っているところですが、先程もお話ございました学校との連携という点では、有事の際の避難所となる学校について気になっていました。最近、避難所となる学校の校長先生とお話したところでは、いつでも万全な対応ができる体制をとっているとの話を伺い、頼もしく感じています。

D委員 子ども会そのものの歴史は70年あり、野田市でも50年を過ぎている中で、一時期は我々の活動に対して地域の皆さんに大変御協力を頂いていましたが、近年極端に活動に対して支援を頂けなくなっている状況にあります。かつて中央教育審議会から地域社会においては父兄の方々にも率先して活動に参加するべきとする答申が出されておりますが、実際にそのような答申が出されていることをほとんどの人が知りませんので、我々としても事あるごとに説明をさせていただき、活動に御協力いただけるように努力しているところです。実際の地域の中と学校と我々のような団体との間に必ずしも一致した意見があるとは限らないと、30年この活動をしてきて感じています。これをどうしたら良いかと日々悩みながらやっていますが、我々の活動はすぐに答えが出るものではなく、10年、20年、30年後に結果として出てくるものだと思っているので、今、分かりにくい活動に対して、どのように御協力いただけるのが最大の課題です。結果の出ない、結果があるのかも分からない活動に約100名のスタッフが毎日悩みながら活動を続けています。

E委員 青少年相談員は、現在、野田市に100人おり、主な仕事として小学校のドッジボール大会があります。後は地区行事を全部の地区で行うことにしていますが、地域の予算もなく、もともと自治会に入って活動してきているので、青少年相談員独自でやるには難しいものがあります。中学生を対象に何かしようということで、数年前からみこしパレードに中学生が参加できる場を作っております。

F委員 興風会は、義務教育を含めた社会教育の振興に寄与することが大きな柱の一つであり、幅広く福祉活動、文化活動、体育活動に関わって行こうということでやっており、また地域文化の発信の一つとしての役割を担っていきたくと活動しています。

課題は、高齢化、後継者の育成がどの団体も悩みとなっておりますので、そことどのように連携して後継者を育てて行くか、若い人を行事に取り込んで行くかということになります。具体的取組としては、昨年、興風会館を小中学生の巡回絵画展の会場にさせていただくことで、多くの小中学生が来ました。また音楽会などの開催を近隣の小中学校に声を掛けましたところ、何校か合唱コンクールや文化祭をやっていただけることになりました。このように長い目で見て後継者を育てていくことが大事なことでと考えております。

G委員 私たちにできることは何かと考えた場合、年齢を問わないという事で合同のスケッチ会とか美術鑑賞会が考えられます。合同のスケッチ会については、野田市には清水公園があり、何度行っても絵になる所がたくさんありますので、大勢の人を集めてスケッチ会をするのはいい場所だと思っています。美術鑑賞会は、千葉県にはたくさんの美術館がありますので、その美術館巡りを考えました。しかしながら大勢の方を対象に募集するのは難しいので実現できておりませんが、何とかして実現したいと思っておりますので、今後良い方法を考えたいと思っています。

H委員 私は、学校で事件があったとか災害に見舞われたような時に、緊急で入ってカウンセリングをするという一員であり、またそれらをまとめるという立場でもあります。最近思いますのは、家庭内での人間関係の希薄さというところから、死ぬということに対してのハードルが低くなってしまっており、それをすぐ越えてしまうということと、子供にとって社会が未来のある、希望のある場所になっていないように感じます。私は、この社会全体が今の子供にとって希望があり、そして頑張って大人になって自立しようとするところにつながるように、みんなが手伝えるところがあれば良いと思っています。

I委員 公民館運営審議会では、地域とのつながりを大事にするということで、地域と公民館のつながりが強い形が理想とするところで皆さん頑張っておりますが、現在は、高齢者の問題で地域の差が大きくなっております。公民館に来られる人は大丈夫ですが、地区によっては来られない人が多くて、公民館とそのような方とどのように関わって行くか、行事などで人をどのように出したら良いのかというところで、真剣に悩んでいます。それから公民館には、小学生、婦人会、高齢者は来るのですが、中抜けて青年層はほとんど来ないのも問題となっております。

また、私は地域の方でいろいろとやっておりますが、私どもの所では、サラリーマン家庭で一人っ子が多くて、何か行事をやっても親だけが出てきて子供が出てこないのが現状です。最近子供が隣同士で遊ぶのも少なく、家の中か塾通いで終わってしまっているような地域ですので、どのようにつながりを作るのかが悩む所です。

それとサタデークラブについて言わせていただきますと、サタデークラブの良いところは縦のつながりができることで、小学2年生から6年生まで教えていますと縦のつながりができまして、1年経つと上の子が下の子を自然と面倒を見る形になりますの

で、とても良いことだと思います。

議長

一通り皆さんの意見を聞かせていただきましたが、私は、いくつかのボランティアをやっております。少子高齢化につながるようなことでは、「婚活」について関わらせていただいています。いろいろな団体とタイアップして人を集めてつながりを作る、そんな活動をしています。それと弦楽活動を既に5年くらいやっておりますが、弦楽活動でいつも課題になるのが格差です。お金だけでなく気持ちに面で「やってみよう」という人と「やらない」という人の差が大きいと感じます。また、体育協会にも絡んでいますが、個人的にスポーツを楽しんでいる人は良いのですが、何もせずに完全に引っ込んでしまっている人がいます。社会教育的立場から言うと、どのようにその人を巻き込んでいけるかということが重要になると思います。午前中体育館に行きましたが、そこでお年寄りを相手に健康教室をやっていました。年齢では60代の方がものすごく多いのですが、話を聞くと仲間が増えないとのこと。今来ている人は元気な60代の人なのですが、気持ちの面と体の面で引いてしまっている人は全く来ることはなく、完全に二極化してしまっており、このような人をどのように巻き込むかということを考えて行かないと、良いつながりのある社会にはなりません。行きたくないのは引っ張って行かないと言う考えもあるかもしれませんが、できるだけ多くの人に楽しんでもらおうとする社会を考えるならば、そのようなまちづくりをして行かなければならないと思います。

さて、皆さんにそれぞれのフィールドで活動している話を伺ったのですが、それぞれのフィールドでの活動で感じている課題を出していただき、それらについて我々が何ポイントかに絞ってそれらを整理し、スピード感を持ってまとめていきたいと考えております。

「少子高齢化社会における社会教育」というテーマですが、皆さんが普段活動していて課題と感ずることがあれば、御自由に発言してください。

I 委員

今すぐにはどうにもならないことですが、野田市は不便な所に施設があり、駅のそばに集まれる場所がないので、駅の近くに大きな建物があれば、高齢者などもっと関われるのではないかと思います。

議長

確かに駅の近くに人が集まって、文化的な活動をやれる場所が少ないです。市は清水公園にスポーツの拠点を作っており、大会などを開いても、ほかの町からでも容易に来ることができる良い

施設がありますが、文化的なものを考えた場合には駅の近くにはなく、一番近いのは興風会館になるでしょうか。

F委員 野田に来た人へのアンケート調査で、野田市駅周辺の分かりやすい案内板がないとか、野田の人に道を聞いても分かる人が少ないということが気になりました。駅前には案内板がありますが、目立たなく分かりにくいものなので、もっと分かりやすくする工夫も必要に思います。

議長 駅の近くのことで、野田市駅を降りた所の倉庫群などは良い見学コースで、近くに美術館もあり、そういう所を見ていただけるようにコース作りをしてもらおうと思います。

また、野田市は公民館が他市に比べてとても多く、しかも立派な公民館です。私は、これを誇りに思います。ただし、いろいろな人を巻き込んでいるかどうかということです。できれば公民館で活動している人たちが、お隣で引っ込んでいる人を引っ張ってくるくらいの関わり作りを公民館辺りが主体となってやってくれたなら、公民館と言うのは、野田の人づくり、和づくり、まちづくり、絆づくり、そのようなものにとって非常に重要なものとなってきます。

D委員 我々の会で高校生、大学生は子どもの父兄の方とのつなぎをしてきていて、小学生、中学生の親に連絡をして連れて来てくれています。高校生や大学生が我々の会の中心になって動いてくると、大変助かります。調査してみますと、野田市の中では高校生、大学生が関わられるような活動がないというのは本音としてありますので、わざわざほかの地域に行って自分の活動の場所を探しているという人もいます。できれば大学生とかに空いた時間に来ていただけると、力になるのは事実です。そのような力を何とか増やして、活動に関われるようにしてあげたいと思ひまして、市内の高校生、大学生の人数を把握できるのであれば、教えていただきたいと思ひます。

生涯学習部長 おそらく年齢別の人口が出ておりますので、推計くらいの数字は出てくるかと思ひますので調べさせていただきます。

議長 資料に成人式対象者の数字がありますが、参考になりませんか。

D委員 大学生は難しいと思ひますが、高校生くらいまででしたらなんとかなるのではと思ひまして。高校生、大学生に活動の場所として我々に関われるのであれば、中抜けの問題なども含め5年後、

10年後ではなく、この現役の対象者について把握しながら我々としても関われるようにしたいと思います。

議長 魅力ある活動を考えれば、集まると思いますね。いずれにしても子どもの数は減っています。成人者の数は毎年減っています。ただ、野田には理科大があります。理科大の学生に参加してもらうこともありますよね。

E委員 理科大の学生にお祭りとお盆踊りの時に、ボランティアに来てもらったことがあります。

議長 学生も活動の履歴になりますし、地域と関わる学生づくりにもつながると思います。

議長 ほかに何かありますか。なければ、これで終了したいと思います。